

～美ら島の未来を拓く～
農業農村整備

みじ く が に
水や黄金

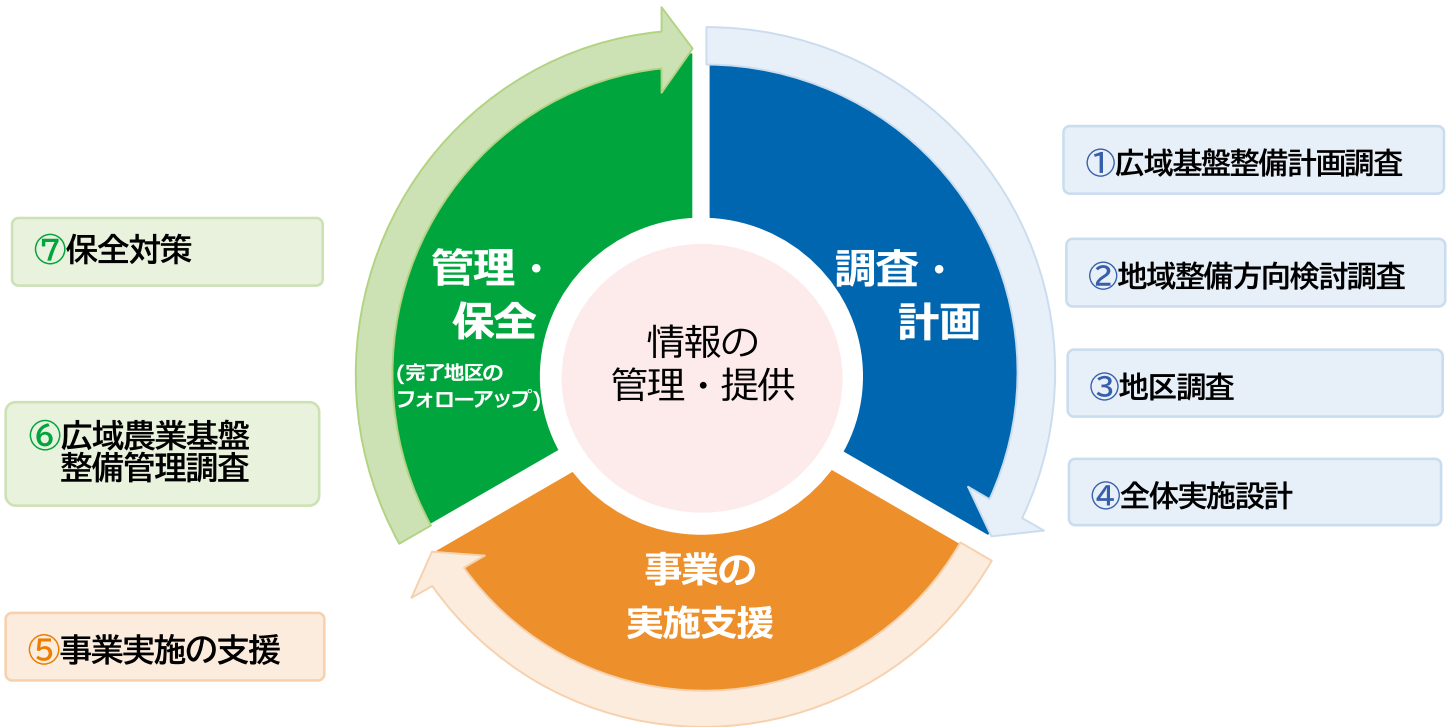
令和8年版



内閣府沖縄総合事務局 土地改良総合事務所

土地改良総合事務所の業務内容

当事務所では、沖縄の地域特性を生かした農業振興を図るため、国営土地改良事業の「調査・計画」、「事業の実施支援」、「管理（完了地区のフォローアップ）・保全」について、一貫して取り組んでいます。



① 広域基盤整備計画調査

複数の国営地区を有する広域農業地域において、地域の現状分析を行い、施設の長寿命化に配慮した更新整備計画、水利用計画、環境・景観配慮基本方針等で構成される広域基盤整備計画を策定。

② 地域整備方向検討調査

地域の現況や課題を踏まえ、国営事業実施地区の範囲を概定したうえで、整備構想の策定、事業費・事業効果の概略算定、地元意向の確認を行い、地区調査実施の可能性を検討。

③ 地区調査

国営かんがい排水事業等の実施予定地区において、事業実施の必要性、技術的可能性、経済的妥当性等について検討を行い、事業計画書(案)を作成。

④ 全体実施設計

工事計画に係る詳細な設計(事業着手後の総事業費の著しい変動を防止)、計画的な事業管理に必要な設計等を実施。

⑤ 事業の実施支援

国営事業所への設計・積算・施工に関する技術的な支援、管内職員を対象とした技術研修の開催。

⑥ 広域農業基盤整備管理調査

地域の農業基盤に関する情報収集、事業完了地区における課題の把握及び対策手法の検討、事後評価調査を実施。

⑦ 保全対策

国営造成施設の機能診断及び機能保全計画の策定。

情報の管理・提供

- ・情報の収集・分析・評価及び対応の検討。
- ・調査計画・管理を通じて得られる情報のシステム化
- ・土地改良事業の円滑な推進に資する各種情報の提供。

防止と高収益作物の導入を目指して～

農業農村整備事業の必要性

台風や干ばつなど厳しい自然条件の中で農業を営む沖縄において、農業農村整備事業により農業インフラである地下ダムなどの水源・かんがい施設やほ場の整備などを行い、生産性の高い農業の実現や労力節減により、農業経営の安定を図ります。

水源・かんがい施設整備

農業用水の安定供給により、作物の安定生産・収量増加や散水労力の軽減が図れます。



スプリンクラーによる散水(さとうきび)



かんがい区 ← → 非かんがい区

かんがいの効果



点滴チューブによる散水(にんじん)

収穫量も増え、干ばつ被害も減り、安定的に散水できて、野菜なども作れるようになったど～
みいふあいゆ～
(ありがとう)



整備前 (給水タンク運搬によるかん水)

かんがい施設が整備されると



整備後 (スプリンクラーによる散水)

水かけ作業がとても楽になったさいが！
たんでい
(ありがとう)



ほ場の整備 (区画整理)

区画整理により、大型機械化による生産性の向上、労力の軽減につながります。



事業実施前(昭和 49 年撮影)



事業実施後(平成 22 年撮影 : 伊是名村川口地区)

防風林整備

防風林の設置により、台風や季節風力を弱め、農作物の被害が軽減されます。



✦ 新たなチャレンジ！

これまではさとうきびの栽培のみ



かん水作業が楽になり、時間に余裕ができたので野菜の栽培も開始



付加価値をつけるため生産物を加工(6次産業化)



畑が整備されて、水も使えるから新しいことにチャレンジしてみーねーかね～
(みょうかな)



広域基盤整備計画調査

国営かんがい排水事業等により基幹的農業水利施設が整備されている大規模かつ優良な農業地域において、食料生産の重要な基盤である農業水利施設を適切に維持・更新していくことを目的に、施設の長寿命化に配慮しつつ、計画的かつ機動的に更新整備を行うための基礎調査として「広域基盤整備計画調査」を平成22年度から実施しています。

令和3年度からの調査対象は、国営事業が完了した5地区（下表赤枠参照）です。沖縄本島や離島に及ぶ広範囲な地域となるため、本調査により地域の現状分析、課題の把握、各種調査等を行い、地域の特色を活かした整備・計画につなげていきます。特に、施設の更新整備計画においては、老朽化した施設を取り壊し、新しい施設を建設するスクラップ・アンド・ビルドのみならず、施設の長寿命化を図るストックマネジメントの取組やICT技術を活用した施設管理を取り入れる等、地域の実情に応じた最適な計画を立案します。

調査年度	関係国営地区	関係市町村
平成22年度～ 平成25年度	宮良川地区 ※	石垣市
	名蔵川地区 ※	石垣市
令和3年度～ 令和10年度	宮古地区	宮古島市
	沖縄本島南部地区	糸満市、八重瀬町
	羽地大川地区	名護市、今帰仁村
	伊是名地区	伊是名村
	伊江地区	伊江村



※ 宮良川地区、名蔵川地区については、国営石垣島地区にて更新事業実施中（着手：H26）

令和7年度は、宮古地区を対象に、施設の更新整備計画の見直しに向けて、関係機関に対し国営造成施設の水利利用状況、施設管理状況と問題点に関する聞き取りを行いました。さらに地域が目指す営農の方向性を把握し、農業用水のあり方を検討するため、地域の営農者に対し農業経営の状況、営農上の課題等を聞き取りました。

また、広域基盤整備計画の策定に向け、施設を管理する宮古島市・宮古土地改良区を含む関係機関で構成された「広域基盤確立推進協議会」を開催しました。

これらの調査及び機能診断調査の結果を踏まえ、令和8年度には、宮古地区における長寿命化に配慮した更新整備計画の策定を行います。

（令和7年度の調査内容(宮古地区)）

地域の現状分析

- 1) 地区概要調査
- 2) 国営関連事業等地区の状況調査
- 3) 水利利用状況調査
- 4) 施設管理状況調査

（令和8年度実施予定の調査内容）

長寿命化に配慮した更新整備計画の策定



ドローンをういて撮影したピンフ岳ファームpond周辺農地写真

地域整備方向検討調査 糸満八重瀬地域

本地域は、糸満市、八重瀬町に広がる農業地帯で、その南側の畑地帯は、国営沖縄本島南部土地改良事業（前歴事業）で整備された地下ダムの水を利用し、那覇市近郊に位置している地域特性を活かした野菜、花卉及びマンゴー等施設園芸を導入した営農が展開されています。

一方で、前歴事業で整備された地下ダム取水施設や揚水機場等は、耐用年数の超過及び経年劣化による老朽化に伴い施設機能の低下が生じており、農業用水の安定的な供給への支障と施設の維持管理に多大な労力と費用を要しています。また、北側の畑地帯においては、排水路や小河川等から個人でポンプを使い水を汲み上げるなど、安定した農業用水の確保が困難な状況であり、施設園芸等の収益性の高い作物への転換が進まず、農業振興の阻害となっています。



農業の課題と調査内容

これまでの調査において、地域が抱える営農上の課題を把握するとともに、地域全体の農業用水の需要を再確認し、既存の地下ダムや地域内の湧水など複数の水源を組み合わせた水源計画の検討、効率的な送配水施設計画の検討などを行っています。また、補足的な施設機能診断による施設の老朽化の状況を把握し、施設の新設整備と更新整備にかかる概略整備構想を検討してきました。

効率的・経済的な事業構想を策定するため、令和7年度までに既存水源（地下ダム等）に加え、その他の水源を活用することにより、地区内の水収支計算の成立を検討・確認してきました。令和8年度から着手する地域整備方向検討調査では、過年度調査の成果を踏まえ、水源・施設・用水・営農の調査等を行うこととしています。

安心・安全な農作物や営農のため、安定した農業用水は必要さ～。



取水施設の揚水管腐食状況



施設管理者への問診



トウモロコシ畑かん水状況



湧水の流量観測



土壌水分計の設置



沖縄本島南部地区連絡会議

国営事業所への支援

当事務所では、①設計・積算・施工に係る技術的な支援、②システムの管理・運営、③研修等の実施を通じて、国営事業所での事業推進を支援しています。

設計・積算・施工に係る技術的な支援

国営事業所の円滑な事業推進が図れるように、設計・積算・施工に関する各種基準の運用を指導するとともに、建設資材価格調査や他の農政局への事例照会等により収集した情報を事業所へ提供しています。

また、設計・積算に関する技術審査や技術提案の評価などに関する支援も行っています。

土地改良総合事務所による技術的な支援

- ◆設計・積算・施工に係る技術的な支援
- ◆業務のシステム化・情報の電子化
- ◆事例照会・技術資料の収集・提供
- ◆新技術の推進や環境配慮技術の情報収集・提供
- ◆資材価格調査

国営事業所によるかんがい施設の整備

◆国営かんがい排水事業 宮古伊良部地区（宮古島市） 《平成 21 年度～》

地下ダム 2 箇所、副貯水池 1 箇所、揚水機場 1 箇所
用水路 55 km、ファームポンド 1 箇所、吐水槽 1 箇所

◆国営かんがい排水事業 石垣島地区（石垣市） 《平成 26 年度～》

ダム（改修）5 箇所、頭首工（改修）3 箇所
用水路（新設・改修）105 km、揚水機場（新設・改修）6 箇所

◆国営かんがい排水事業 多良間地区（多良間村） 《令和 8 年度～》

貯水池（新設・改修）5 箇所、取水施設（新設・改修）10 箇所、用水路（新設・改修）24km、ファームポンド 1 箇所

農業農村整備事業総合支援システムの管理・運営

「事業総合支援システム」とは、農業農村整備事業の調査・計画段階から、事業の実施（設計・施工）、施設の維持管理、更新までのライフサイクル全体に関わる情報を統一的なフォーマットで電子化し、ネットワークを利用して効率的に交換・共有するためのシステムです。

当事務所では、農業農村整備事業の透明性を確保し、効率化を進めるため、「事業総合支援システム」を導入し、その管理・運営を行っています。

（標準積算システム、契約事務システム、現場業務支援システム等）



技術力の向上を図る研修・講習会の実施

職員の専門的かつ実務的な知識や技術力の向上を図ることを目的に、九州農政局と連携した研修や、管内事業所を対象とした講習会を実施しています。

- ◆電子納品・CAD講習会：沖縄管内の職員を対象に、工事発注等の作成で使用する CAD の操作技術の習得
- ◆施設機械現地講習会：沖縄管内の職員を対象に、施設機械工事の設計、積算等にかかる基礎知識の習得
- ◆初任技術研修（実践）：九州・沖縄管内の新規採用者を対象とした、業務及び工事の積算に関する基礎的知識・技術の習得

【開催実績】

年度	研修名・講習名	開催時期
R6	電子納品・CAD講習会	6.13～6.14
	初任技術研修（実践）	11.12～11.15
R7	電子納品・CAD講習会	6.26～6.27
	施設機械現地講習会	9.18～9.19
	初任技術研修（実践）	11.11～11.14

初任技術研修の様子



国営事業完了地区への支援

国営事業完了地区への支援として、完了地区に関する各種情報の収集や蓄積、国営造成施設のストックマネジメントへの取組、また、国営事業関連土地改良区等との情報交換などを行っています。

国営事業完了地区のフォローアップに必要な調査等への取組

(1) 広域農業基盤整備管理調査

地域の農業基盤に関する情報の収集、管理及び提供並びに国営完了地区のフォローアップを実施しています。

(2) 土地改良区等との情報連絡会の開催

国営事業関連土地改良区等との情報交換を定期的実施しています。



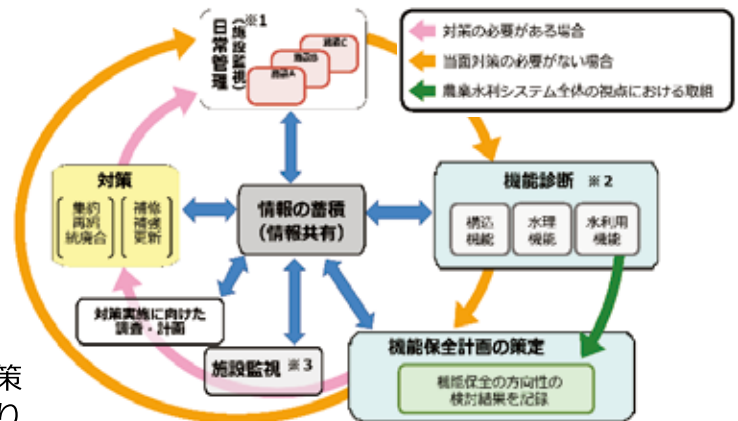
土地改良区等情報連絡会

農業水利施設のストックマネジメントへの取組

ストックマネジメントとは、施設の機能がどのように低下していくのか、どのタイミングで、どのような対策を取れば効率的に長寿命化できるのかを検討し、施設の機能保全を効率的に実施することを通じて、施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（施設建設費、供用中の運転・維持管理・補修費、廃棄額の全費用）の低減を図る取組です。

実施サイクル

- ストックマネジメントは、
- ①管理者による適切な日常管理
 - ②定期的な機能診断
 - ③施設の劣化予測や工法等の比較検討による機能保全計画の作成
 - ④同計画に基づく対策の実施
 - ⑤これらの課程を通じて得られる施設状態や対策履歴等のデータの蓄積と利用等のサイクルを繰り返すことにより実施しています。



- ※1 日常管理の一環として継続的に行う施設監視（結果は機能診断・機能保全計画策定等に活用）
- ※2 構造機能、水理機能は、水利用機能の発揮を支える関係にある
- ※3 機能保全計画の精度を高め、適期に対策を実施するために継続的に行う施設監視

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

国営造成水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るために、以下の事業を実施しています。

①機能保全計画策定事業

施設の劣化状況等を調べる機能診断（耐震診断を含む）を行い、施設の機能を保全するために必要な対策方法を定めた機能保全計画を策定し、施設管理者に施設の効果的な機能保全対策や適期の設備更新の実施に関する指導・助言を行っています。

令和7年度においては、国営かんがい排水事業「宮古地区」及び「伊江地区」の取水施設等の機能診断及び機能保全計画策定を行いました。



材料検収状況

②技術高度化事業

機能の適切な保全に必要な技術を現地での実践を通して向上させ、ストックマネジメント技術の高度化を図っています。

令和7年度においては、国営かんがい排水事業「沖縄本島南部地区」の取水施設の機能維持を図るため、井戸の劣化要因や対策手法の検討を行いました。



ポンプ運転講習会状況

災害応急用ポンプ貸出しについて

地方公共団体・土地改良区等を対象として、集中豪雨や台風等による湛水排除や、干ばつ時の用水補給などの応急措置を目的として「災害応急用ポンプ」の貸出しを行っています。

みどり 水土里の相談室

当事務所では、沖縄局管内の事業の推進に資するため、農業農村整備事業や土地改良施設管理等に関することについて、農家、土地改良区及び地方自治体等からの相談や問い合わせに対応する「水土里の相談室」を設置しています。

【相談内容】

- ・農業農村整備事業に関すること
- ・農業水利施設の管理操作に関すること
- ・土地改良区の運営に関すること
- ・その他

みどり 水土里の広報室

当事務所では、「水土里の広報室」を設置し、農業農村整備事業の役割や重要性を県民の皆さまに広く発信する活動を実施しています。

学校教育との連携

①夏休み野外学習会

糸満市及び八重瀬町の小学生とその保護者を対象に、地下ダムやファームポンドなどのかんがい施設を見学する野外学習会を実施しています。

②出前授業

農業の現状や農業用水の必要性、地下ダムやファームポンドなどのかんがい施設が果たす役割等を分かりやすく説明する出前授業を実施しています。土地改良区とも連携し、施設見学も行っています。

※令和7年度は、伊是名村、伊江村の小学4年生を対象に、多良間村では小学4年生と中学校全学年を対象に実施。



貸出し用水中ポンプ



慶座地下ダムの見学



夏休み野外学習会



伊是名小学校



伊江小学校・西小学校



多良間小学校

『水土里(みどり)』とは、

水：私たちの命を支え、食べ物を作り出すために欠くことのできない、清い流れの農業用水

土：緑豊かな農地

里：農家の人々が暮らす豊かな自然や文化のあふれる美しい農村

これらを象徴する「水」「土」「里」を並べ、「みどり」と呼んでいます。



多良間中学校

トピックス
1

～ 国営完了地区において、高収益作物の導入が進む ～

沖縄の温暖な気候を活かし、農業農村整備事業による水あり農業の実現によって高収益作物への転換が進み、国営完了地区の関係市町村における農産物の生産量の沖縄県内に占める割合は、近年、キクは5割、マンゴーは6割ほどでそれぞれ推移しています。

(※国営完了地区関係市町村：伊是名村、伊江村、今帰仁村、名護市、糸満市、八重瀬町、宮古島市、石垣市)



資料：沖縄総合事務局農林水産部「園芸農作物市町村別統計書(平成6年～平成16年)」、
沖縄県農林水産部「沖縄県の園芸・流通」



写真：国営完了地区におけるキクへの散水・栽培状況



資料：沖縄総合事務局農林水産部「園芸農作物市町村別統計書(平成6年～平成16年)」、
沖縄県農林水産部「農業関係統計」



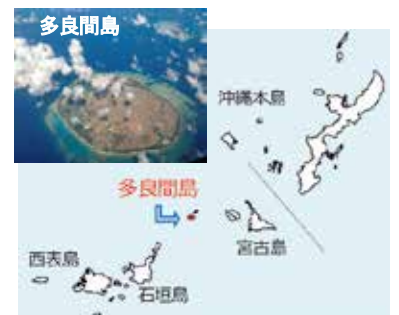
写真：国営完了地区におけるマンゴーへの散水・栽培状況

トピックス
2

～ 多良間地区が国営事業として着工 ～

「多良間地区」は、地下水取水をはじめ施設計画を慎重に検討するとともに、高収益作物の導入に向けて多良間村や沖縄県の関係部局と協力した営農実証や推進体制の検討等、畑地かんがいの事業化へ向けた調査を実施してきたところ、所定の手続きを終え、令和8年度から国営事業が開始されます。

多良間地区では、現状、さとうきびと畜産が主体の農業でしたが、畑地かんがいの実現により、新たな営農推進体制の組織化、新規作物の導入などの営農推進を図り、農業経営の安定化を目指します。



営農実証等の取組



パッションフルーツの授粉体験会

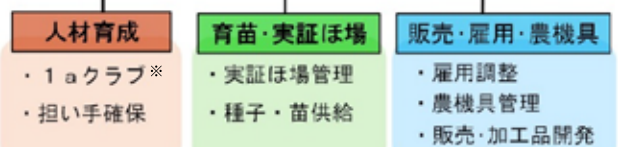


ニンニクの実証ほ場

営農推進体制の仕組み

各種の営農支援活動を行うための組織として令和12年度を目標に組織化していく予定です。

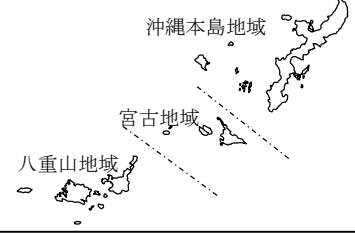
多良間村営農支援センター



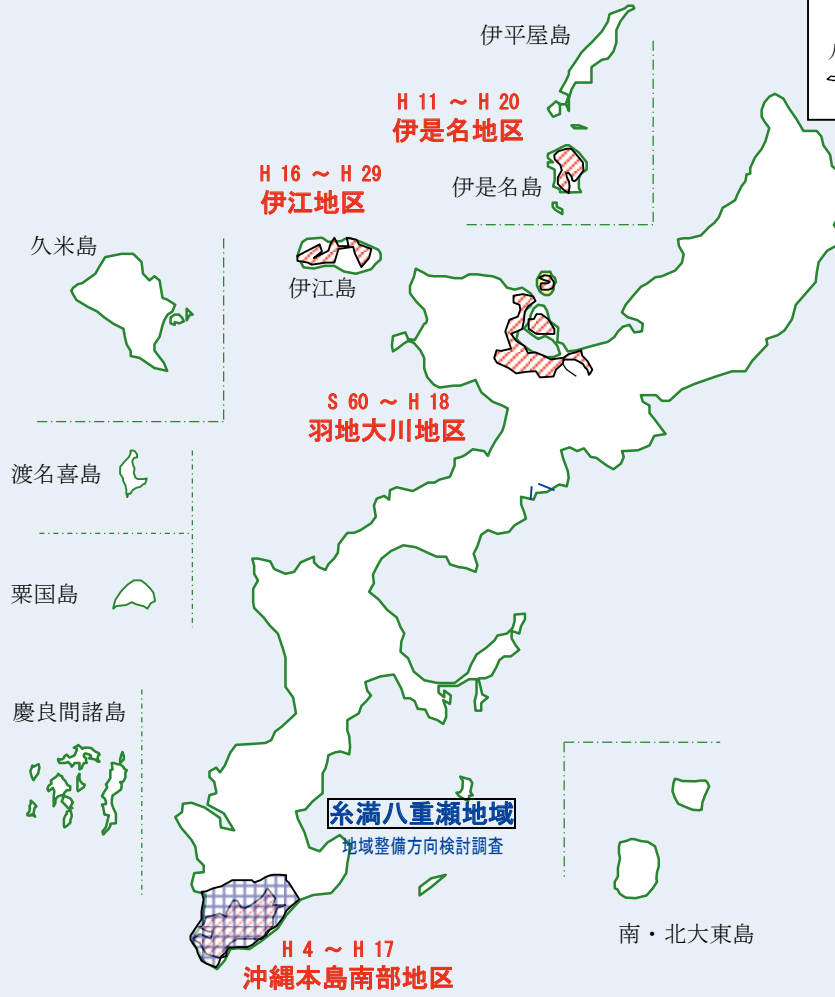
※農業に関心のある非農家等を対象に、少面積から野菜作りを始めてもらう取組

沖縄総合事務局管内 国営事業地区位置図

沖縄地域



沖縄本島地域



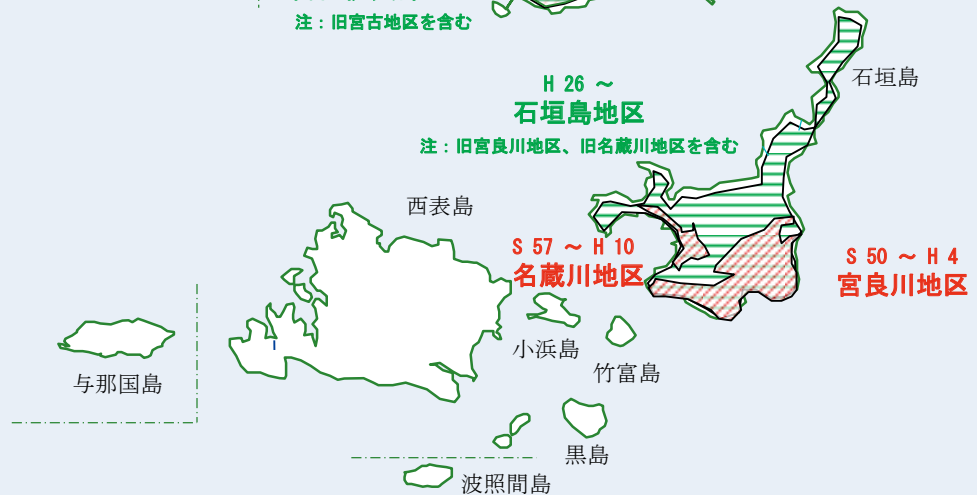
凡 例	
計画地区	
実施地区	
完了地区	

※上段は実施期間

宮古地域



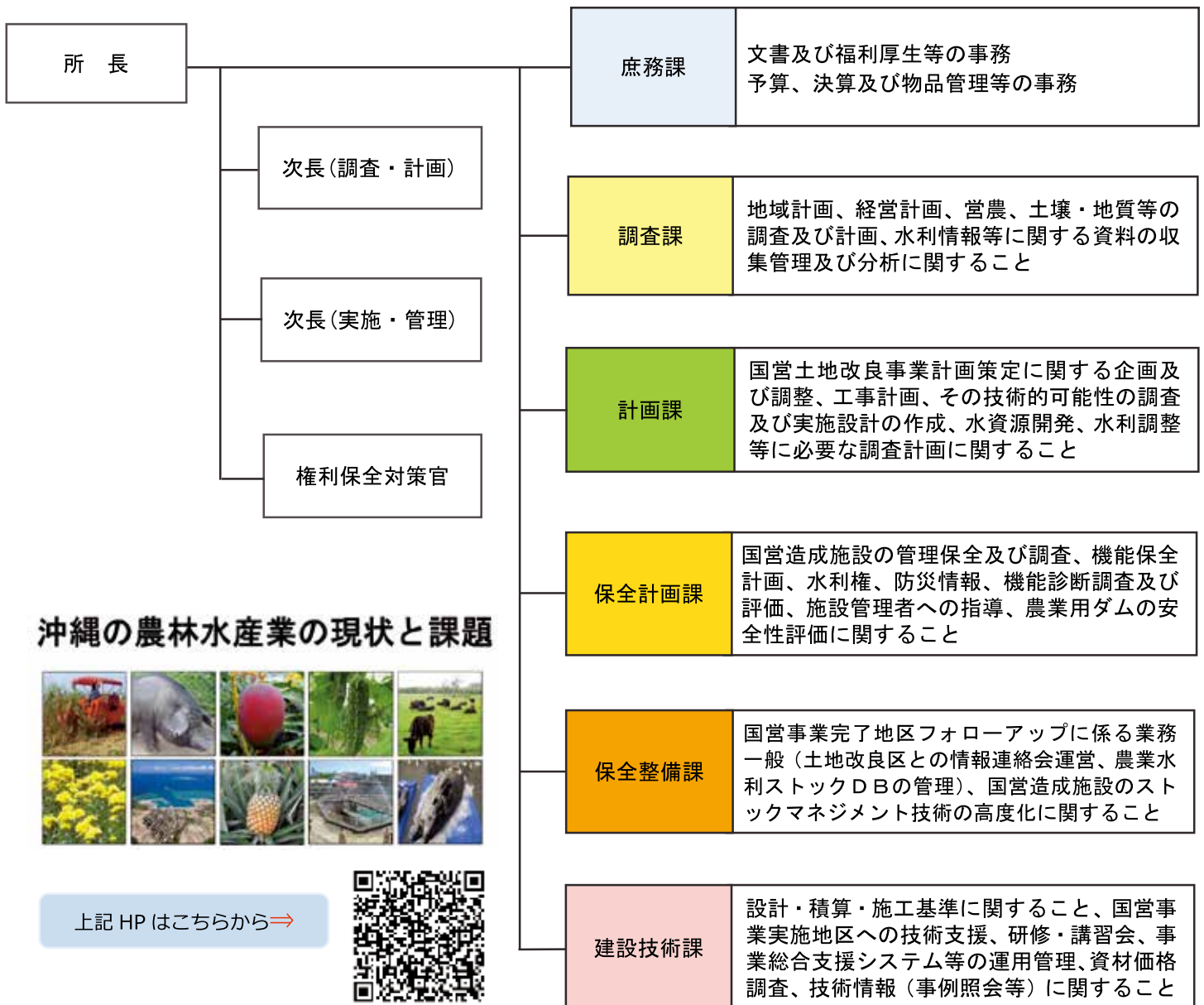
八重山地域



土地改良総合事務所 組織概要

当事務所は、昭和46(1971)年に宮古・八重山地域を襲った大干ばつを契機として、昭和47(1972)年の沖縄の本土復帰とともに石垣市内に設置された沖縄総合事務局「石垣島農業開発調査事務所」を前身としています。

平成3(1991)年10月、国営土地改良事業の調査、計画、事業実施支援、管理について一貫して取り組む総合的な事業推進組織である「土地改良総合事務所」として改組し、那覇市内に移転しました。平成14(2002)年9月、豊見城市に新庁舎を建築し現在に至っています。



沖縄の農林水産業の現状と課題



上記 HP はこちらから⇒



パンフレットに関するお問い合わせ

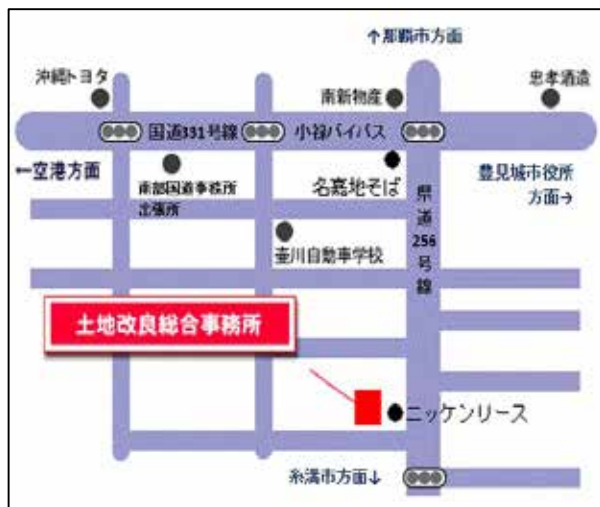
土地改良総合事務所

〒901-0232

沖縄県豊見城市字伊良波 622

TEL:098-856-6868

FAX:098-856-6962



土地総 HP はこちらから⇒



「地下ダム 新キャラクター紹介」



「地下ダムクジラ」



「うるる」



「じゅしちやがー」

【表紙の説明】

「水や黄金」とは、しばしば干ばつに見舞われる沖縄においては、水は黄金にたとえられるほど貴重なものという意味であり、農業農村整備事業の重要性を表現しています。

<写真>

- 1段：左-八重瀬町【ぐしちゃんピーマン】、中-宮古島市【宮古島産メロン】、左-糸満市【電照菊】
- 2段：左-宮古島市【城辺の畑かん散水状況】、中-宮古島市【城辺のほ場整備地区】、左-宮古島市【仲原地下ダム施工状況】
- 3段：左-多良間村【耕土流出防止(ハヅレ-)植栽体験】、左-糸満市【美らキャロット畑の緑肥(向日葵)】
- 4段：左-伊江村【土地改良区による畑かん給水栓維持管理状況】、左-石垣市【大浦1号配水池の屋根施工状況】

(令和8年3月)